

春の陽気を浴びながら日吉地区を力走

◎第2回武左衛門マラソン

元気よくスタートした選手たち



3月25日、日吉地区の父野川を中心に「第2回武左衛門マラソン」が行われ、180人が参加しました。

2回目の開催となる今回は、ハーフマラソンと10kmマラソンを実施。ハーフマラソンは旧北宇和高校日吉分校前を、10kmマラソンは日吉小中学校下をそれぞれスタートし、四万十川源流沿いの自然豊かな風景を楽しむながら、駆け抜けました。

また、沿道には「頑張れ」「あと少し」と選手を応援する地元の人たちの姿があらこちらに見られ、選手たちはその声援を力に変えながら、ゴールを目指していました。

チーム一丸となって試合に挑む

◎鬼北町長旗争奪バレーボール大会

白熱した戦いを繰り広げる選手たち



3月18日、鬼北総合公園体育館で「鬼北町長旗争奪バレーボール大会」が開催され、町内外から6チームが参加しました。

試合に挑む選手たちの眼差しは真剣そのもの。仲間と声を掛け合いながら、互いに一步も譲らない攻防戦を繰り広げ、見事なチームプレイを見せていました。選手たちは、会場に響く仲間や観客からの温かい声援を背に受けながら、一球一球集中して試合に臨んでいました。

主な結果は次の通りです。

- ①三崎クラブ(伊方町)
- ②一本松VC(愛南町)
- ③とみすクラブ(大洲市)

コウゾがつなぐ宮城と鬼北の絆

◎虎斑楮(トラフコウゾ)植樹式

植樹する泉貨紙保存会会長の平野さん



3月30日、泉公民館駐車場で「虎斑楮(トラフコウゾ)植樹式」が行われました。

虎斑楮は、宮城県白石市で有名な「白石和紙」の原料に用いられているもの。この虎斑楮は約40年前、旧宇和島藩から持ち込まれたという言い伝えがあることから、当町でその生産の復活を図ろうと、今回、白石和紙の技術継承に取り組む団体から、鬼北泉貨紙保存会(会長・平野邦彦)に株分けされました。

平野会長は「この木を鬼北町と白石市のシンボルとして大事に育て、今後は北宇和高校生の協力も得ながら、原料生産を目指していきたい」と、意気込んでいました。

1市3町が手を結び明るい未来へ…

◎定住自立圏共生ビジョン策定報告会

固い握手を交わす市町および各町長



「宇和島圏域定住自立圏共生ビジョン策定報告会」は3月27日、南予森林組合本所で行われました。

宇和島市・松野町・愛南町・鬼北町の1市3町で締結された「定住自立圏形成協定」をもとに、今回策定された「定住自立圏共生ビジョン」。地域の活性化と発展の実現のために必要な具体的取り組み等が示されています。

今後は1市3町がそれぞれの役割を分担し、連携・協力しながら、「生活機能の強化」「結びつきやネットワークの強化」「圏域マネジメント能力の強化」「まち・ひと・しごと創生」を推進していきます。